

3月定例会 一般質問

3月定例会では、「女性支援施策について」と「地域の人材を活用する施策について」一般質問いたしました。

女性支援施策について

女性活躍推進法が施行され、女性の活躍に今までになく注目されています。しかしながら、市がどのようなことを行っていくのか、なかなか方向性が見えません。多様なライフスタイルを持つ女性をどのように支援していくのか、見解を伺いました。

回答：平成28年度から、地方創生総合戦略を進める未来戦略推進室を設置し、その中に若者・女性支援担当を置く。また、女性活躍推進協議会を設置し、多様な女性の意見を聞いていく。

地域の人材活用について

地域の人材、特に会社等を退職されたシニア世代の活躍の場について伺い、活躍の場を求めていらっしゃる方にわかりやすい窓口等の設置を求めました。

回答：現在市が行なっているものとしては、生涯学習人材バンクや学校支援ボランティア、アダプトプログラム、夢のシロ補助金事業などがある。シニア層はまちを守っていただく世代でもあり、知見や経験は皆さん深いものを持たれているので、それを活かす場を作っていきたい。

※詳細はブログや市議会ホームページの録画配信をご覧ください。

平成28年度 新施設開設

高砂西港に新たな公園が誕生しました。また、教育センターが生石に移転しました。

新たな施設の開設の反面、教育センター跡地の課題は残っています。引き続き、課題に向き合っていきます。



お知らせ

ホームページも合わせてご覧ください。 <http://shimazuharuka.com/>

また、日々の活動をブログに綴っています。

しまづはるか活動報告 <http://blog.goo.ne.jp/shimazu1987>

後援会員を募集しております。ご入会いただける方は、下記連絡先まで、ご連絡ください。

読んでいただき、ありがとうございました。ご感想をお寄せいただくと嬉しく存じます。

TEL/FAX 079-447-1515 E-mail shimazu.takasago@gmail.com

しまづはるか後援会報



会報10号

発行責任者：島津明香 TEL/FAX:079-447-1515 E-mail:shimazu.takasago@gmail.com

挨拶

後援会報も10号を迎えました。この度も、後援会報を手にとっていただき、ありがとうございます。

2016年(平成28年)2月22日より3月22日までの30日間、平成28年3月定例会が開催されました。3月定例会は一年の予算を決める一年で最も長い議会です。この後援会報10号では、平成28年度の予算をはじめ、3月定例会にて議論したことを中心にお知らせしてまいります。

最後まで読んでいただくと嬉しく存じます。

高砂市議会議員 島津 明香



新庁舎について

3月定例会にて、以前より検討されていた庁舎の建設について、一定の方向性が示され、現地建て替えと報告いただきました。

庁舎の場所によっては新たなまちの中心地ができ、これまでと異なる発展の可能性があると感じます。そのため、庁舎検討にまちづくりという観点からどのように考慮されたのかを質問しました。移転候補地の一つであった明姫幹線南地区は市街化調整区域であり、新たな発展の可能性はあるものの規制の中でその可能性が不明瞭であるため、断念されたことが確認できました。

庁舎建設については、3月下旬まで行われたパブリックコメントの結果も踏まえて、今後の方向性が決定されます。



伊保幼稚園について

伊保地区の幼稚園と保育所が統合され認定こども園化されるにあたり、梅井保育園が建て替えられ、梅井保育園の場所で平成31年度より認定こども園が開園します。

それに伴い、伊保幼稚園は廃園となり、伊保小学校区から未就学児のための施設がなくなることとなります。

この件については、地元の方々に市からも丁寧に説明を行っていただくことを求めました。



平成 28 年度 当初予算

一般会計 歳出

総額 340 億 6438 万 9000 円を可決しました。

小中一貫教育

平成 26 年より高砂小学校・高砂中学校にて進められている小中一貫教育を、市内全校で進めるための検討が平成 28 年度に行われます。とはいえ、高砂以外の学校は小学校と中学校の校舎が離れています。また、特に伊保小学校の児童は二つの中学校に分かれて通います。そのような中での一貫教育の進め方について質問しました。ソフト面での一貫教育を進めるとの説明をいただきました。

観光看板修繕事業

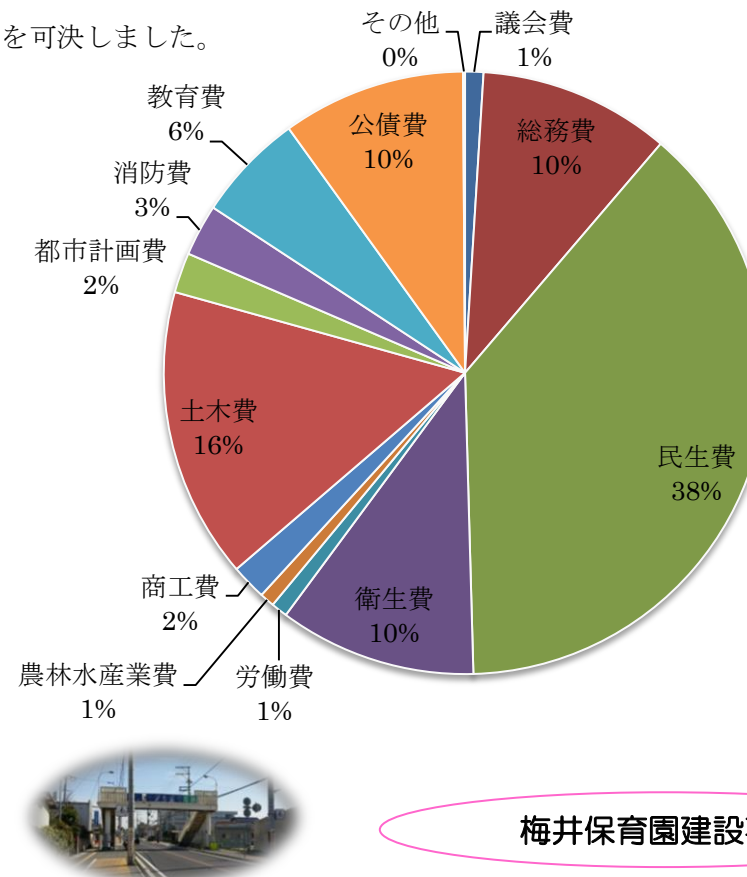
市内の歩道橋に掲げられている 7ヶ所のプライダル都市の看板のうち、特に修繕の必要な 4ヶ所を修繕する事業です。

この事業に関連して、プライダル都市宣言の今後の方向性を質問しました。昭和 63 年に行ったプライダル都市宣言について、今後は和合長寿をアピールし、ランドマークを構築するとともに、訪れたい高砂市となるよう取り組んでいくとのことでした。

不妊治療助成事業

平成 28 年度より、不妊治療に対する助成が行われます。国の助成に上乗せして市から上限 10 万円が助成されます。

この助成の年齢制限は 43 歳まで（男性の不妊治療に対する助成の場合はパートナーの女性の年齢が 43 歳まで）とされているため、年齢制限の設定理由等を確認し、高齢出産の危険性などを考慮しての設定であるとのことを確認しました。その上で、妊娠や出産を希望する方々への適切な準備（検診受診など）の周知等を求めました。



新婚世帯家賃等補助

平成 28 年度からの新規事業で、若者の定住を促進することを目的として新婚世帯への家賃等補助が行われます。

一年のみの家賃補助で本当に若者が高砂市に住もうと思うのかという事業の妥当性や補助対象となる所得制限について質問しました。補助対象については世帯年収 600 万円までの世帯に家賃補助を、世帯所得 300 万円までの世帯に家賃に加えて引越し費用の補助が行われます。この基準は、世帯所得 300 万円が結婚にあたっての一つの壁であるという国の調査から設定されているとのことでした。

未来戦略推進補助金

地方創生創業戦略であるたかさご未来戦略を官だけでなく市民の力でも進めるための補助金が交付されます。

戦略は官が作成したものであるため、協働のためにはその意図や目的を市民に伝えていただく必要性を訴えました。若者や女性を重視しながら、様々な機会を利用して未来戦略やこの補助金の PR を行っていくとのことでした。

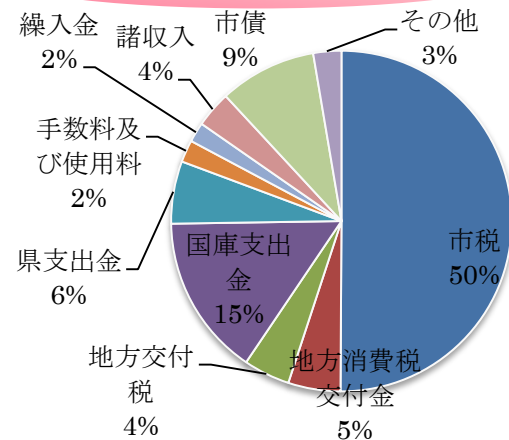
梅井保育園建設事業

前ページでも触れましたが、老朽化による梅井保育園の建て替えに伴い、伊保地区の幼稚園と保育園が梅井保育園の場所で認定こども園化されます。

これに伴って、伊保幼稚園は廃園となります。しかしながら、特に伊保幼稚園の廃園については地域の方々にまだ伝わっていないことも多いと感じます。市も地域の方々に説明し、意見を聞いていただく必要があることを伝えました。



一般会計 歳入



平成 28 年度の事業についての議会での詳細な議論の経過は 3 月定例会中のブログ記事に掲載しています。
<http://blog.goo.ne.jp/shimazu1987>
 合わせてご覧いただきたいと思います。

地方創生関係の予算

平成 27 年度補正予算である国の地方創生加速化交付金を受けて行う事業として、高砂にここポイント制度と高砂未来ビューローの二つの事業が決定しました。

高砂にここポイント制度は、特定検診受診やボランティア活動、各種講座やイベントなどの参加者にポイントを付与するもので、市民活動の推進や健康増進が図られます。高砂未来ビューローは市内でまちづくりを行う各種団体の事務局を統合し、官民が連携したまちづくりの推進が行われます。

高砂にここポイントは平成 28 年 6 月からの実施予定、高砂未来ビューローは平成 29 年 3 月の設立予定となっています。

どちらも、今後の予算執行が地方創生に繋がるよう、確認してまいります。